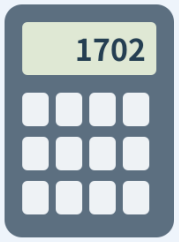
電卓とAIのまちがい方のちがい

電卓と生成AIは、どのようにまちがえるのだろう

電卓　決まった手順で計算する

入れるもの：　37 × 46　　（3回とも同じ）



1回目	1702	○
2回目	1702	○
3回目	1702	○

同じ入力には、いつも同じ答え。
まちがうのは、ボタンを押しまちがえた
ときなど、入力がまちがっていたとき。

生成AI　ことばの続きを予想して答える

入れるもの：　「37×46はいくつ？」　（3回とも同じ）

AI

1回目	1702です	○
2回目	答えは1702になります	○
3回目	1692です	✕

入力が正しくても、もっともらしい
まちがいをすることがある。
答え方も、毎回変わることがある。

使い分けよう

計算や決まった手順
→ 電卓や計算のプログラム

アイデアや文章の下書き
→ AI（確かめてから使う）

大事な数
→ 自分でも確かめる

※ AIの答えは架空の例。サービスによっては、中で計算のプログラムを使うものもある。